

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期	3	2	選択
担当教員			
松田 崇			
添付ファイル			
講義概要	映像の歴史・仕組みから映像制作の基礎を学び、オリジナルの映像を制作します。 この科目は、ビジュアルコミュニケーション分野の実務経験のある教員が担当する科目である。		
授業計画	1 ガイダンス 復習：授業内容の復習 2 映像の歴史と原理 映像史を学び、ストップモーションムービーによる映像制作を行う。 課題：課題制作 (AL④) 復習：授業内容の復習 3 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。 映像の歴史と原理 映像史を学び、ストップモーションムービーによる映像制作を行う。 課題：課題制作 (AL④) 復習：授業内容の復習 4 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。 映像制作の流れ 映像制作に必要な基本（コンテ、ポジション、アングル、動き、ショットなど）を課題制作を通して学習する。 課題：課題制作 (AL④) 復習：授業内容の復習 5 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。 映像制作の流れ 映像制作に必要な基本（コンテ、ポジション、アングル、動き、ショットなど）を課題制作を通して学習する。 課題：課題制作 (AL④) 復習：授業内容の復習 6 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。 映像制作の流れ 映像制作に必要な基本（コンテ、ポジション、アングル、動き、ショットなど）を課題制作を通して学習する。 課題：課題制作 (AL④) 復習：授業内容の復習 7 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。 映像制作の流れ 映像制作に必要な基本（コンテ、ポジション、アングル、動き、ショットなど）を課題制作を通して学習する。 課題：課題制作 (AL④) 復習：授業内容の復習 8 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。 映像制作の流れ 映像制作に必要な基本（コンテ、ポジション、アングル、動き、ショットなど）を課題制作を通して学習する。 課題：課題制作 (AL④) 復習：授業内容の復習 9 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。 撮影・編集 身近な撮影機材を利用し撮影を行い、映像編集ソフト（DaVinci Resolve）を使った編集を学ぶ。 課題：課題制作 (AL④) 復習：授業内容の復習 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。		

	10	撮影・編集 身近な撮影機材を利用し撮影を行い、映像編集ソフト（DaVinci Resolve）を使った編集を学ぶ。 課題：課題制作（AL④） 復習：授業内容の復習 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。
	11	撮影・編集 身近な撮影機材を利用し撮影を行い、映像編集ソフト（DaVinci Resolve）を使った編集を学ぶ。 課題：課題制作（AL④） 復習：授業内容の復習 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。
	12	撮影・編集 身近な撮影機材を利用し撮影を行い、映像編集ソフト（DaVinci Resolve）を使った編集を学ぶ。 課題：課題制作（AL④） 復習：授業内容の復習 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。
	13	作品制作 オリジナルの映像作品の制作 課題：課題制作（AL④） 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。
	14	作品制作 オリジナルの映像作品の制作 課題：課題制作（AL④） 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。
	15	作品制作 オリジナルの映像作品の制作 課題：課題制作（AL④） 準備学習：授業時間内にも制作時間を確保しますが、それだけでは足りません。各自、授業外での制作時間の確保が必要となります。
授業形態	講義と演習 ※授業計画は、多少変更の可能性があります。詳細は、初回授業のガイダンスで説明します。 アクティブラーニング：①:0回, ②:0回, ③:0回, ④:12回, ⑤:0回, ⑥:0回	
達成目標	映像制作ができる	
評価方法・フィードバック	評価方法：出席と提出課題によって評価 フィードバック：作品の中間発表や講評	
評価基準	秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）	
教科書・参考書	なし	
履修条件	なし	
履修上の注意	なし	
準備学習と課題の内容	映像による、さまざまな表現を制作者の視点で接することを心がけてください。 (毎回、予習復習それぞれ1.5時間程度)	
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:20%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:30%, 態度:10%, 技能・表現:20%	
DP1 知識・理解		
DP2 思考判断		
DP3 関心意欲		
DP4 態度		
DP5 技能・表現		